

令和3年度第1回豊橋交通安全対策検討委員会議事録（外部委員）

| | |
|-----|-----------------------|
| 日時 | 令和3年6月9日（水）9：30～11：30 |
| 場所 | 豊橋市役所 東館8階 東85会議室 |
| 出席者 | 別紙のとおり |
| 傍聴者 | 0名 |

司 会：本日はご多用中、ご参集頂きまして誠にありがとうございます。

それでは、ただいまより「令和3年度第1回豊橋交通安全対策検討委員会」を開催させていただきます。開会に当たりまして、豊橋市 市民協創部長の加藤よりご挨拶を申し上げます。

部 長：【あいさつ】

司 会：会議に先立ちまして、委員の皆様をご紹介するのが本意ではございますが、時間の都合上、お手元の「豊橋市交通安全対策検討委員会名簿」をもって紹介に代えさせていただきます。なお、この検討委員会には、市役所の交通安全関係部局職員も委員になっていますが、本日は緊急事態宣言下での開催ということで、委員の人数を絞っての開催となっていることを申し添えさせていただきます。

それでは、これより議事に入りたいと思います。「豊橋市交通安全対策検討委員会設置要綱第4条の規定」により委員長が議事を主宰することとなっておりますので、委員長に議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

委員長：はじめに本日の会議は「豊橋市交通安全対策検討委員会設置要綱第8条」の「豊橋市交通安全対策検討委員会の運営について」に基づき、「公開」で開催させていただきます。あわせて議事録作成のため議事内容を録音させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。それでは議事の「第11次豊橋市交通安全計画策定に向けて」事務局より説明願います。

事務局：【資料に基づき説明】

委員長：只今、事務局より説明がありました重点施策以外について何かご意見などございますか。

委員：交通死亡事故死者数はH29、R2において目標を達成できたとあるがやや過大評価ではないか。平成23～27年の5年間平均は15.6人、平成28年～令和2年の5年平均は、10.4人と減少しているのは、確かだが、10人以下とはなっていない。

事務局：計画の本編はこれから作成していきます。本日、配付している参考資料1にH23からの事故発生状況を記載しており、今後の計画の本編にも加えていく形で検討しております。なお、評価の記載については、いただいたご意見を踏まえて、記載していきます。

委員：「こどもの交通事故死者数を0人にする」は重要かつ実現性も十分あると思われる良い目標である。また、全体として「人優先」という視点やメッセージが不十分に思われる。国の第11次交通安全基本計画においても、基本理念の3大項目の1つとして「人優先の交通安全思想」が記載されているが、現実を見ると、十分に浸透していない実態にある。

事務局：人優先の交通安全思想につきましては、重点施策①高齢者及び子どもの安全確保、②歩行者及び自転車安全確保と遵法意識の向上に重きを置いて、いただいた意見を踏まえて作成していきます。

委員長：続きまして、先ほど事務局が説明しましたが、重点施策については、豊橋市交通安全計画アクションプランに相当する内容となっております。そのため、より深い議論をこの場でしていきたいと思えます。まず、①高齢者及び子どもの安全確保ですが、高齢者の運転免許の自主返納に関してですが、どのような取組をすれば返納者が増えていくと考えられるでしょうか。

委員：妻が1年前に運転免許を返納するも、どこに行くにも足が無いため、自転車をすすめるも坂があるため利用しにくい状況にある。また、通院する際は、コミュニティバスを利用するなどの手もあるが、私の住んでいる校区からでは自家用車で行けば30分で行けるところが、1時間以上かかってしまう。免許返納の自主返納を推進するには、足の確保が重要であると考えています。

事務局：現在、安全生活課では有効期限のある運転免許を自主返納した70歳以上の高齢者に対し、タクシー料金助成券5,000円分、交通助成券5,000円分、元気バス購入助成券5,000円分のいずれか一つを交付する事業を実施しています。また、路線バスが廃止になったところについては、地元の組織を立ち上げていただきなが

らコミュニティバスを設けさせていただいて、公共交通の空白地域が無いよう努めていますが、路線バスに比べ、本数が少ないなどのいきとどくようなサービスまで提供できていない実態にありますので、少しでも移動しやすい環境に取り組んでいる状況です。

委員長：子どもの安全確保についてもご意見を頂きたいと思います。通学路の指定にあたって注意している点をお聞きしたいです。

委員：本年度は通学路一斉点検の年であり、向山校区の交通死亡事故の件もあって、地域の協力も得ながら、危険箇所すべてを吸い上げています。

委員：豊橋市は2年に1回、通学路一斉点検を実施しており、中学校にも指定通学路があることから、非常に多くの危険箇所がでてきます。もう少し、関係機関と協議することにより、一步、踏み込んだ対策ができれば更に良いものになると考えています。

委員：2年に1回の通学路一斉点検で800～900程度の危険箇所が出てくるが、そのうち、8～9割が市の道路維持課と豊橋警察署の交通課規制係が担当しているものになります。毎年、通学路一斉点検の年は、6月くらいに危険箇所への要望が上がり、8月末までに要望のあったすべての箇所を確認し、回答するといったタイトなスケジュールとなっている。小中学校の先生方は道路の専門ではないため、感覚で危険箇所を上げてきていると思われます。道路の専門の方から見ると、ちがった目線で対策を検討できるが、スケジュールがタイトなため、十分に検討することが出来ないため、3年に1回にするなどして、余裕を見た方がより良い対策を検討することができると思います。また、前回の一斉点検時に対策ができないと回答あった箇所について、ここはどうしても重要だという箇所に関しては、市教育委員会へ印をつけて報告することにより、再度、検討する予定である。

委員長：続いて、重点施策についての②歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上ですが、警察としてどのような取組をしていますか。

委員：横断歩道の取締りを随時、実施しております。また、昨年はコロナの影響もあり、交通量が減少したことにより、速度違反の取締りを重点に実施しました。

委員長：このほか、何かご意見等ございますか。

委員：横断歩道での取締も重要ではあるが、車の停止率の状況を調査把握する必要ではないか。

委員：歩道がないところに関しては、地元の老人クラブ等で下校時の子どもを見まもる活動を実施しています。

委員：横断歩道があるところをもっと分かりやすくする必要があるのでは。生徒にはルールを守っても交通事故に遭う可能性があり、一つレベルの高い、交通意識を持つよう教えています。

委員：ヘルメットの着用に関し、大人がヘルメットを被っていないのに、子どもに被らせるのは難しいと思われる。

委員長：重点施策についての③生活道路の安全確保ですが、出会頭での事故が多いとのことですが、何かご意見等ございませんか。

委員：生活道路の出会頭の事故は見えない、死角があるといったところにあり、運転者側に引き続き、訴えかけていく必要があります。

委員長：重点施策についての④先端技術の活用や交通利用実態等を踏まえたきめ細やかな対策の推進につきまして、E T C 2.0 の活用の展望について国土交通省様から情報を頂けますか。

委員：各市町村の都市計画道路等に対してビッグデータを活用して地域の特徴も提供できるところもあるので、ご相談ください。

委員長：重点施策についての⑤地域が一体となった交通安全対策の推進につきまして、事業者が行っている取組を教えてください。

委員：コロナの影響により、人を集めての啓発が出来ていない状況である。新聞やインターネット等を利用して交通安全を呼びかけています。

委員：去年はコロナの影響により、交通量が減少したことにより交通事故が減少していると思われる。企業活動については、物流はコロナ前に戻りつつあるも、リモートワークにより移動は少なくなっている。交通事故件数は交通量と因果関係があるか教えていただきたい。

委員：交通量の因果関係はあります。コロナの影響により、緊急事態宣言が発令された際は学校の休校及び在宅勤務などの理由により通勤・通学の事故が減少しています。緊急事態宣言解除後は、通勤・通学が元に戻ったこともあり、事故は増加しているが、私目的での事故に関しては、移動の自粛の影響もあり、減少傾向にあります。

委員：交通安全対策を実施していくには交通量を減らしていく必要がある。すぐに交通量を減らす取組は出来ないと思うが長期的な目線により市と一体となって公共交通の利用を推進していく必要がある。企業としても交通安全面からの観点だけでなく、環境面を踏まえCO₂の削減を考慮し、通勤方法を公共交通主とするような方向へシフトするように取り組んでいきたいと考えている。

委員：メールを活用し、事業者へ交通死亡事故情報など注意喚起を促しています。

委員長：活発な議論、ありがとうございます。重点施策については、個別事業の洗い出しを今後進めていき、次回の検討委員会でまたご議論いただきたいと思います。

委員長：議事は以上です。円滑な進行にご協力いただき誠にありがとうございました。

司会：本日はお忙しい中、会議にご出席いただき誠にありがとうございました。委員の皆様から大変貴重なご意見を頂戴し、改めてお礼申し上げますとともに、交通安全対策の更なる推進に役立てたいと存じます。

本日はありがとうございました。